

ブルンジ月報（２０２５年１０月）

※以下は、ブルンジ主要メディア（RTNB、IWACU等）の記事取りまとめ。

1. 政治・外交

今月のンダイシミエ大統領の主要な動きは以下のとおり。

- 2日、Xia Huang 国連大湖地域特別代表による表敬。大湖地域情勢について意見交換。
- 6日、Babacar Faye 新世銀ブルンジ事務所長による表敬。
- 9日、ケニアで開催された第24回東南部アフリカ市場共同体（COMESA）首脳会合に出席。ブルンジ議長国の1年を振り返ると共に、議長国がケニアに引き継がれた。
- 20日、スウェーデン及びガボン大使による信任状奉呈。
- 21日、1993年10月21日に暗殺されたンダダイエ元大統領を追悼する祈禱行事に出席。
- 31日、ギテガにてIFC副総裁率いる世銀代表团による表敬。
- 10月中、全国各地を遊説し、本年6～8月の選挙後に選出された新郡知事をお披露目して回った他、各地の鉱物資源採掘場を視察し、透明性を持った形でこれら資源の開発を進めていく旨表明した。

内政に関し、

- 7日、ンダイシミエ大統領出席の下、鉱物資源（緑水晶及びアメジスト）の公式な輸出が発表された。これら鉱物資源は中国向けに輸出されるが、透明性の確保が課題となっている。

外交に関し、

- 9月28日～10月1日、ボルグスタムEU大湖地域特別代表がブルンジを訪問し、ンハホンフイエ首相と会談。コンゴ（民）東部情勢に関し、EUが果たす役割について意見交換を行った。
- 30日、パリにて大湖地域の平和と繁栄のための人道支援会議開催。ビジマナ外相が出席。

2. 経済

- 22日、公務員の出張旅費について、50km以下の移動については支弁しない旨の法令が、同日の閣議にて可決された。歳出削減政策の一環として評価する声がある一方、車のアクセスが困難な地域への出張が考慮されていないとして批判する声もある。

(了)